電子錠製品要件表及び電子錠管理システム機能要件表（兼回答書）

会 社 名

代表者名

・電子錠の製品要件及び電子錠管理システムの機能要件について、回答欄・費用欄・備考欄に記入すること

・回答欄：標準機能で対応◎、オプションで対応○、カスタマイズで対応△、対応不可×

・カスタマイズまたはオプションで対応可の場合、費用に金額を入力し、見積書に反映させたかどうかを備考に記載すること

・書かれている条件が、条件付きで機能を満たす場合は、その条件や具体的説明を備考欄に記入すること

・その他、特筆すべき事項は備考欄に記入すること

・対応の可否の欄が空欄の場合は対応不可とみなします

１　電子錠（製品本体）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 機能要件 | 回答 | 費用(円) | 備　考 |
| 施設内Wi-Fi環境への直接接続によるインターネットを使用した遠隔管理が可能であること |  |  |  |
| スマートフォン等を使用することなく、事前に発行した暗証番号により容易に解錠及び施錠が可能であること |  |  |  |
| 予約システムと連動し、API連動により自動発行された暗証番号を利用し解錠できること |  |  |  |
| 既設の扉及び錠前の仕様に応じて、開き戸だけではなく引き戸にも設置可能であること |  |  |  |
| 既設の扉及び錠前の仕様に応じて、既設のシリンダーを継続使用することができること |  |  |  |
| 施設のドアに直接取り付けし、キーレスで利用できること。その際、長期間の利用との観点から簡単に取付・取外しが可能な両面テープではないタイプであること |  |  |  |
| 施設のドア環境によって直接設置できない場合、施設入口付近に物理鍵を格納するキーボックスを設置し、鍵管理しても差し支えない。その際、キーボックスを容易に持ち運びできない装置を講じること |  |  |  |
| 停電を伴う有事の際にも、解錠できる手段として物理鍵と併用できること |  |  |  |
| 災害時に通信環境が正常動作してない時でも、管理システムで事前に発行した非常用の暗証番号を利用して解錠できること |  |  |  |
| 防水・防滴に関する対策として防錆仕様、もしくは防水カバーを有することで、多様な設置環境にも柔軟に対応できること |  |  |  |

２　電子錠鍵管理システム

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 機能要件 | 回答 | 費用(円) | 備　考 |
| 施設予約システムともAPI連動により、予約日時の情報を元に暗証番号が自動発行できること |  |  |  |
| 施設予約システムの利用者側画面からの予約に対し、予約日時、部屋に応じて暗証番号を自動発行し、利用者へ通知ができること |  |  |  |
| 施設窓口での予約において、施設予約システムの管理者側画面から職員による操作に対して、暗証番号を自動発行できること |  |  |  |
| 施設予約システムによる予約に対して自動発行した暗証番号が、管理システム上で容易に確認できること |  |  |  |
| APIを通じて利用日前日等、任意の日時に暗証番号のメール通知が可能であること |  |  |  |
| 予約に応じた入室制限が可能であり、解錠履歴による利用者の特定が容易であること |  |  |  |
| 貸室の利用区分に限らず、暗証番号の有効期間を任意に設定できること |  |  |  |
| 玄関入口に自動扉があった場合、施設内の貸室向けに自動発行された暗証番号と同じ番号で解錠可能であること |  |  |  |
| 施設利用者（予約者）ごとに異なる暗証番号を発行でき、不特定多数の利用を考慮し1,000名以上分の発行にも対応できること |  |  |  |
| 施設管理者や職員等が解錠するにあたり、全施設に共通利用可能なマスターキーとなる暗証番号を設定できること |  |  |  |
| 将来の施設拡張を考慮し、同じエリアや同じ施設内の複数の電子錠をまとめて一括管理できるグルーピング機能を有すること |  |  |  |